



だいせん

# 市議会だより

平成18年8月1日 第5号



「秋田わか杉国体を盛り上げよう!!」定例会では出席者全員がオリジナルジャケットを着用して本会議が行われました。



君のハートは位置につけ  
**秋田わか杉国体**  
2007 第62回国民体育大会

## 六月定例会のあらまし

六月定例会（第二回）は六月八日に招集され、六月二十六日までの十九日間の会期で行われました。

初日に栗林市長から市政報告の冒頭で、「固定資産税納税通知書の償却資産の課税誤り、そして水道料金の検針データ漏れによる徴収漏れが発生した。先の臨時会で、契約事務の手續きの誤りについて、議員各位にお詫びし、職員に二度とこのようなことのないよう厳重に注意し、事務事業執行上の留意点について徹底を図ったところであるが、新たなミスを重ねましたことは、これまで築いてきた市民との信頼関係を損ねるものであり、改めて市民並びに議員の皆様へ深くお詫び申し上げます。」と陳謝されました。

このほか市政報告では、「五月二十日に仙北組合総合病院早期移転新築推進会議の総会及び圏域医療の現状とこれからの地域医療を考えるシンポジウムが開催され、小田田秋田県医師会長、山下大曲仙北医師会長や松田美郷町長に参加いただいたのパネルディスカッションが行われ、早期移転新築に向け、官民一体となって運動を展開していくことを会場の約五〇〇人の圏域住民の皆様と誓い合った」と述べられました。

最終日に追加された人事案件等も含め、上程された案件は条例案八件、単行案九件、平成十八年度補正予算九件、人事案三件でいずれも原案のとおり可決、承認並びに同意と決しました。



5人の議員が市政全般にわたり  
市当局の見解をただしました。  
以下はその要旨です。

【質問】

高齢者の保健福祉向上の一貫として、温泉ふれあい入浴サービスマンが七十歳以上の高齢者に配布されたことは喜ばしい制度

一般質問

温泉施設利用料を柔軟な料金設定に

佐藤文子 議員



であるが、寄せられる声には厳しいものがあつた。

市直営、第三セクターの温泉施設利用料については、今後、それぞれの施設ごと、柔軟な料

金設定ができるようにすべきと思ふがどうか。

【答弁】 栗林市長

それぞれの温泉施設とも、地域性や立地条件、設備の規模や利用者層、工夫を凝らした営業形態など、当然のことながらサービスマンのちがいは存在することとなり、これを最大限に活かして各施設が経営努力をしているところでは、民間主導型の方法を積極的に取り入れていきたいと考えており、施設運営者側が経営状況等に応じて決定する利用料金

の設定について検討して参りたいと存じます。

【質問】

松くい虫は、国と県の命令と財政保障のもと、公私区別なく、早期発見、徹底した駆除、蔓延防止策を講ずることがはつきりと法律にうたわれているが、岩手県と秋田県の松くい虫対策の内容に大きな開きを作ってしまった要因は何か。

【答弁】 金農林商工部長

秋田県の対策につきまして、国及び県の方針に基づき、保安林等の「保全すべき森林」

を主体として対策を講じるとともに、これ以外の森林については、各市町村が地域の实情により独自の取組を実施してあります。このため、「保全すべき森林」を対象とした基本的な防除では違いがないものの、市町村独自の取組においては、県内の市町村はもとより、他県の市町村との間においても若干の差異が生じております。

(佐藤議員はこの質問のほか、障害者自立支援法への対応についての質問も行いました)

【質問】

経営所得安定対策を積極的にとらえ対応するのか、現状維持を図る対応をするのかという選択により支援センターの活動も軌道に乗らないのではと心配しているところであるが、その見解を賜りたい。

【答弁】 栗林市長

六月十四日に十九年度から新たな経営安定対策の導入を盛り込んだ「担い手経営安定新法」の成立を受け、十九年度からの経営所得安定対策につきまして、積極的に対応することとして、集落営農・法人化支援セン

ターを設置するとともに、各総合支所に二名の集落営農担当を配置し集落営農や法人化の取組を支援してまいります。

【質問】

中山間地域対策制度は大仙市の一部で実施されていますが、農山村で生産条件の不利な地域は当市の中でも相当な地域にわたると思います。農山村のこれ以上の荒廃を防ぐためにも、この事業をより積極的に活用すべきと思うが、いかがでしょうか。

【答弁】 栗林市長

本市において、中山間地直接

支払制度の交付対象となる農用地の該当は、南外地域の西ノ又地区・湯の又地区及び太田地域の永代地区であります。このほか、市長が特に必要と認めた案件等もありますので、今後とも対象農用地等の調査を行ってまいります。

【質問】

今日の仙北農業は、ガッチリした米の基盤にプラス野菜・畜産等の複合で成り立っているもので、少なくとも米が仙北農業の弱点だという認識は誤りと思ふがいかがか。

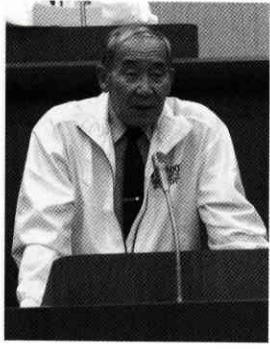
【答弁】 栗林市長

チャレンジプランでは、複合化に向けた取り組みを最重要課題として位置づけ、基幹であります米の産出額は現状を維持し、米以外の戦略部門の農業産出額を高め、その割合を稲作五〇%、複合五〇%とバランスのとれた生産構造とすることを将来目標に県、市町、JAが一体となって推進するものであります。(藤井議員はこの質問のほか、イオン大曲店について、教育問題について、高齢者雇用安定法と市職員定年制についての質問も行いました)

一般質問

経営所得安定対策を積極的に対応するのか

藤井春雄 議員



# 一般質問

## 一般質問

### 大仙市職員の 研修計画は

金谷道男 議員



【質問】

人材育成の施策は色々な分野  
に対するものが必要であります  
が、大仙市職員の方々の能力向  
上のための研修計画は、どのよ  
うになっているのか。

【答弁】 栗林市長

職員が職場での仕事を通じて

自己成長・自己実現を目指すこ  
とによって、組織が活性化され

市民満足度を高めることになり  
ます。職場における学習風土づ  
くりを進めるとともに、新たな  
人事管理制度や人事評価制度の  
導入などの検討も含め、効率的  
に研修できるよう努めて参りま

## 一般質問

### 個人情報保護法が 拡大解釈されていないか

渡邊秀俊 議員



【質問】

個人情報だということ、ご  
く身近な会議資料や会員名簿か  
ら住所、電話番号を削除し、連  
絡を取るときに電話帳をめくっ

て探し出すというようなことは  
随所で見られている。しかし、

個人と社会が良好な関係を維持  
し、成熟したまちづくりを進め  
ていくためには、住所、氏名、

す。

【質問】

これからの農業は自立しなけ  
ればなりません。自立するため  
には地域に意欲的な農業者を作  
らなければなりません。恒久的  
な農業後継者を育成する制度を  
創って欲しいと思いますが、い  
かがか。

【答弁】 栗林市長

大仙市全域を対象とした現行  
の大仙市奨学資金貸与制度の活  
用も含め、太田農業振興情報セ  
ンターを新規就農者の中核施設  
として位置付け、新たな制度を

平成十九年度施行に向けて、検  
討して参ります。

【質問】

これからの行政運営、自治体  
経営、まちづくりは住民との協  
働でなければならぬと思いま  
す。住民の学習活動がしっかり  
サポートされてこそと思います  
が、きっかけ作りや機会づくり、  
学習プログラム作りをアドバイ  
スする専門職が必要だと考える  
いかがでしょうか。

【答弁】 相馬教育次長

社会教育法に基づく社会教育  
主事の資格取得者ですが、現在

三十三名がおり、そのうち十名  
が市内生涯学習関連施設に配置  
されております。今後とも計画  
的に資格取得職員の増員を図る  
とともに、有資格職員の配置に  
つきましても配慮して参りたい  
と考えております。地域におけ  
る生涯学習を盛んにするため  
に、住民の身近なところで学習  
活動を奨励・支援する生涯学習  
奨励員九十五名等を配置し、学  
習の機会づくりやプログラムづ  
くりにより協力を頂いております。  
(金谷議員はこの質問のほか、税源  
移譲と住民負担についての質問も  
行いました)

【質問】

個人情報保護法の拡大解釈と  
過剰反応にどう対応していくの  
かお伺いしたい。

【答弁】 栗林市長

現在、制度が制定されて間も  
ないことから、過敏になってい  
る状況もあると思われれます。市  
民への啓発に努めて参ります  
が、総務課、各総合支所地域振  
興課、消費生活相談所を個人情  
報保護制度に関する窓口として  
おりますので、具体的なケース  
につきましてはご相談いただき  
たいと思います。

年齢については、施行前とは行  
かないまでも、もう少し公表さ  
れてしかるべきではないかと考  
えるがいかがか。

【答弁】 栗林市長

個人情報保護に関する法律  
は、五千人を超える数の個人情  
報をデータベース化して事業の  
用に供する民間事業者を対象と  
するもので、個人情報五千以  
下以下の者、また、事業の用に  
供しない、いわゆる一般私人は  
法律の適用除外となっております。

また、個人情報保護法は、名  
簿作成自体を否定するものでは



### 総務常任委員会

当委員会に付託となった案件は、条例案二件、単行案一件、一般会計補正予算でいずれも原案どおり可決、同意と決しました。

条例の改正のうち、大仙市駐車場条例の一部改正は、大仙市役所駐車場を利用者の利便性を優先して料金を徴しないように改正するもの。

単行案の秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体

の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更については、同総合事務組合を組織する地方公共

団体の中に市町村合併に伴い脱退及び加入並びに名称を変更する団体が生じたための変更。

一般会計補正予算は、大曲南庁舎の維持管理費と仙北庁舎の施設修繕費として七五六万円の補正であった。

当委員会に付託となった案件は、条例案一件、一般会計補正予算でいずれも原案どおり可決と決しました。

導入することとして、関係条例の整備を行うもの。

条例の改正は、大仙市公の施設に係る指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定で、協和地域の荒川鉦山跡地観光施設、モーターサイクル場、まほろば唐松中世の館等の五つの施設について指定管理者制度を

一般会計補正予算の

農林水産業費は、対象事業者の大幅な増加に伴い、あなたと地域の農業夢プラン応援事業費、仙北・太

田地域就業改善センター外壁等修繕の補正。商工業では南外地域の西ノ又工業団地進入路の舗装工事や嶽の湯の温泉ポンプ等修繕料の補正であった。

## 委員会審査のあらまし

当委員会に付託となった案件は、条例案三件、一般会計補正予算、特別会計補正予算三件、単行案一件でいずれも原案どおり可決、同意と決しました。

条例の改正のうち、大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例は、医療費の増加が見込まれる一方で所得の落ち込み等により税収が当初見込を下回ることから、同事業の財政基盤を維持するため、基礎課税額の所得割額の税率を改正するもの。

大仙市学校設置

条例の一部を改正する条例は、平成二十年四月開校予定の協和地域統合小学校の建設に係る国庫補助事業の認定申請において必要なことから改正するもの。

一般会計補正予算の民生費は新たな認可保育所の増加に伴う法人立等保育所負担金、大曲保育会に対する施設整備費補助金等の補正。教育費はスポーツ少年団大会派遣費補助金、中仙地域の鶯野運動場、協和・仙北野球場の施設修繕費の補正。

当委員会に付託となった案件は、条例案二件、一般会計補正予算、特別会計補正予算五件、単行案七件でいずれも原案どおり可決、同意と決しました。

条例の改正のうち、大仙市水道事業の設置等に関する条例の一部改正では、仙北地域の一部の地域を簡易水道事業により配水管布設工事等を行い、これを上水道に統合して給水することから所要の改正を行うもの。

一般会計補正予算の土木費は、

雪害による側溝等の修繕、土砂利撤去工事費、西仙北地域の橋りょう架替事業費、中仙・仙北地域の道路整備事業費や神岡地域の屋内多目的施設の備品購入費、各特別会計予算の補正に伴う繰出金の補正である。

特別会計補正予算のうち、公共下水道事業は国庫補助事業費の内示に伴う神岡・西仙北地域補助事業費の補正及び高資本費対策借換債に伴う元金償還金の補正。

単行案の工事委託に関する

### 教育民生常任委員会

国民健康保険事業特別会計補正予算は、所得の確定及び一般被保険者療養給付費の補正並びに収納率向上特別対策事業費等の補正。

単行案の工事請負契約の締結については、五月二十六日に指名競争入札を行った（仮称）八乙女研修宿泊施設大規模改修工事について契約を締結するために議会の議決を求めるものであった。

協定の締結については、刈和野浄化センター水処理施設増設工事について日本下水道事業団と契約を締結するために議会の議決を求めるもの。また、工事請負契約の締結については、五月三十日に指名競争入札を行った大曲西部地区農業集落排水事業機械設備工事について契約を締結するために議会の議決を求めるものであった。

### 企画産業常任委員会

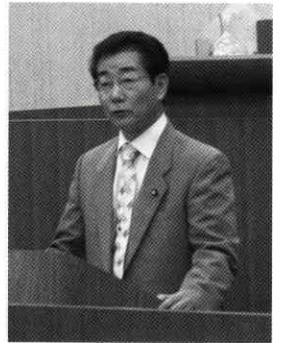
一般会計補正予算の土木費は、

### 建設水道常任委員会

# 一般質問

## ブロードバンドの未整備地区をどう進める

千葉 健 議員



【質問】

ブロードバンドの整備が進んでいない地域をどう進めていくのか、お伺いしたい。

【答弁】 栗林市長

大仙市内でADSL回線の未整備地区は、大沢郷地区、強首地区、豊川地区、荒川地区、船岡地区の一部、それに峰吉川地区の計六カ所です。

整備については、県・大仙市・通信事業者がそれぞれ負担する県補助事業の高速インターネットアクセス網整備促進事業を活用したいと考えており、通信事業者との協議を進め、平成二十年までには全市において、ADSLサービスが受けられるよう推進してまいりたいと考えています。

【質問】

他の行政区から大仙市内に勤務し、家族の仕事の関係上、どうしても大仙市内の〇歳児保育をお願いしたいという場合、引き受ける環境は整っているのか伺いたい。

【答弁】 藤肥健康福祉部次長

他市町村の〇歳児から五歳児保育の受入れにつきまして、広域入所制度により対応しております。公立保育所へ入所希望の場合は、自治体間での協議と議会の議決が必要となりますが、当市においては、市長の専決処分事項に指定をいただいております。法人立保育所へ入所希望の場合は、自治体間の協議によることとなっております。

【質問】

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の平成二十四年度までの総事業費の予測と、今回補正予算で計上された約六億円は当初予算編成の段階で想定されていたのか伺いたい。

【答弁】 栗林市長

平成二十四年度までの総事業費については、長期間の事業計画であることや、膨大な事業費、事業量であることから、合併前の平成十五年度に見直しを行っております。住宅市街地総合整備事業を含めた総事業費は三億五億七、二〇〇万円と試算しております。事業費の見直しにつきましては、まちづくり交付金等一部の補助制度に変更があったこと等により、今一度精査、整理の上、ご報告したいと存じます。

今回の補正予算は、中通線アンダー部のJR施行分の工事費が当初予算編成時に確定しておらず、またこれに対する補助金の配分も不明であったことから六月補正において対応することとしたものであります。

（千葉議員はこの質問のほか、子育て支援策についての質問も行いました）

## 佐藤文子議員

### 15年永年勤続者表彰を受賞

5月23日に東京都日比谷公会堂で開催された「第82回全国市議会議長会定期総会」において、佐藤文子議員が議員15年以上の永年勤続者として同議長会の表彰を受けられ、6月定例会の冒頭で表彰状が伝達されました。



## 総合支所でも

### 議会が傍聴できます

六月定例会から本会議の一部を市役所各総合支所の大型テレビで中継しています。今後は傍聴できる場所を増やしていく予定です。

今年度の中継予定は、定例会（九月、十二月、三月）の本会議における市長報告や市政方針、市議会議員による一般質問や予算質疑等です。

本会議場まで足を運ばなくても、最寄の支所一階市民ホールに設置している大型テレビで傍聴できますのでぜひご覧ください。



6月定例会から開始された議会のテレビ中継

# 一般質問



# 先進地に学ぶ

## 教育民生常任委員会視察研修

六月二十八日から三十日にかけて、広島県廿日市市と山口県岩国市を視察しました。

広島県廿日市市では「住民参画のまちづくり」について、同市市民活動センターにおいて研修を行いました。市民活動センターは、市民と行政とのパートナーシップを形成しながら、市民活動が活発で、市民が主体となったまちづくりを進めるために設置されたもので、市民と市

民活動団体、行政機関と市民活動団体などの連絡調整機関としての役割を担っています。行政主導ではなく、市民主体のまちづくりのためにどのような取り組みが必要なのか、廿日市市の説明を受けながら、活発な意見交換がなされました。

山口県岩国市では「環境ISO取得の経緯と取り組み内容について」及び「基地行政と地域住民との関わり」について研修

を行いました。環境ISOは地球環境に優しい企業経営や団体活動を実現するために、地球環境を保護する観点からそれらの活動を管理していくための世界共通基準であり、同市は省エネルギー・省資源の推進、環境に配慮した製品の使用推進、職員の環境保全意識の向上、京都議定書にある地球温暖化対策としての温室効果ガスの総排出量の削減などをいち早く導入し、環境にやさしいまちづくりを推進しています。これからの環境保護のために何をすべきか、大変有意義な研修となりました。



住民参画のまちづくり先進地、広島県廿日市市で説明を受ける教育民生常任委員

また、岩国基地を抱える市として、米軍・米兵と地域住民との関わりや騒音問題などについて担当課の説明を受け、併せて基地移設予定地の現場視察を行いました。(委員長 門脇一男)

# 請願・陳情・意見書

## 【請願】

- ◎旧四ツ屋堰改修に関する事について =採 択=
- ◎ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める事について =採 択=

## 【陳情】

- ◎道路改良並びに舗装に関する事について =採 択=
- ◎「市町村合併の特例に関する法律」に対する事について =採 択=
- ◎用水路U字溝の嵩上げについて =採 択=
- ◎違法伐採問題への対応強化を求める事について =採 択=
- ◎出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締に関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める事について =採 択=
- ◎最低保障年金制度の創設を求める事について =採 択=
- ◎地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる事について =採 択=
- ◎住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める事について =不採択=

## 【意見書】

- ◎ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書 =原案可決=
- ◎違法伐採問題への対応強化を求める意見書 =原案可決=
- ◎出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締に関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書 =原案可決=
- ◎最低保障年金制度の創設を求める意見書 =原案可決=
- ◎地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる意見書 =原案可決=
- ◎「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書 =原案可決=
- ◎脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書 =原案可決=

※これらの意見書は、大仙市議会の提案により議決し、内閣総理大臣をはじめ、各関係大臣に対し要望しました。

# 議会のつどき

## 【4月】

- 5日 議員全員協議会
- 14日 議会報編集委員会
- 24日 議会運営委員会
- 27日 第2回市議会臨時会

## 【5月】

- 9日 佐賀県唐津市議会行政視察(循環バス)
- 17日 愛知県大府市議会行政視察(地域づくり)
- 18日 宮崎県宮崎市議会行政視察(総合支所の役割)
- 26日 建設水道常任委員会所管事務調査
- 30日 教育民生常任委員会協議会

## 【6月】

- 1日 議会運営委員会
- 8日 定例市議会(1日目)
- 16日 定例市議会(2日目)
- 19日 定例市議会(3日目)
- 20日 定例市議会(4日目)
- 20日 定例市議会(5日目)
- 26日 定例市議会(5日目)
- 28日 教育民生常任委員会視察研修(広島県廿日市市・山口県岩国市)



2億6,488万5千円を追加

6月定例議会

# 一般会計補正予算(第2号)を原案可決

一般会計の補正予算は、国庫補助事業・県補助事業費の採択や各施設の修繕費、認可保育所の新規増加による法人立保育所の負担金、各特別会計予算の補正に伴う繰出金が主なものであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億6,488万5千円を追加し、補正後の予算総額を44億7,588万1千円といたしました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

## 歳入

【12款 分担金及び負担金	5,819千円】
○保育所保育料負担金	5,819千円
【14款 国庫支出金	28,510千円】
○国庫負担金(保育所運営費負担金)	13,608千円
○国庫補助金(障害者自立支援法事務費等)	14,902千円
【15款 県支出金	65,982千円】
○県負担金(保育所運営費負担金)	6,804千円
○県補助金	59,012千円
【16款 財産収入	19,100千円】
【17款 寄付金	1,000千円】
【18款 繰入金	1,454千円】
【19款 繰越金	119,375千円】
【20款 諸収入	8,645千円】
【21款 市債	15,000千円】
○母子寡婦家庭住宅整備事業債等	15,000千円

## 歳出

【2款 総務費	21,696千円】
○町内集落会館建設費等補助金	8,279千円
○大曲南庁舎・仙北庁舎維持管理・施設修繕費	7,560千円
【3款 民生費	65,185千円】
○法人立等保育所負担金	42,295千円

○法人立保育所補助金	17,198千円
○国民健康保険事業特別会計繰出金	△4,381千円
【4款 衛生費	3,455千円】
○簡易水道事業特別会計繰出金	2,539千円
【5款 労働費	7,500千円】
○大仙市雇用助成金	7,500千円
【6款 農林水産業費	69,994千円】
○あなたと地域の農業夢プラン応援事業費	63,677千円
【7款 商工費	15,985千円】
○企業誘致振興対策費	5,074千円
○嶽の湯温泉管理費	5,016千円
【8款 土木費	39,916千円】
○道路維持管理費	7,424千円
○道路新設改良費	22,245千円
○土地区画整理事業特別会計繰出金	10,090千円
○宅地造成事業特別会計繰出金	△12,594千円
○特定環境保全公共下水道特別会計繰出金	3,338千円
【10款 教育費	41,154千円】
○学校生活支援事業費	6,613千円
○保健体育総務費補助金	4,857千円
○野球場管理費	19,228千円

本会議第五日の六月二十六日には「大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会」と「大仙市福祉施設等法人化調査特別委員会」の二つの特別委員会が追加議事で提案され、原案可決されました。

「大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会」は市が第三セクターで経営している温泉施設などを市当局と一体となって経営改革に向けて調査するもの。また、「大仙市福祉施設等法人化調査特別委員会」は合併前の各町村が経営し、合併後は市の直営となっ

ている特別養護老人ホームや保育所等を法人化について調査するもの。二つの特別委員会の委員は次のとおりです。

【大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会】八名  
委員長▼北村稔、副委員長▼齊藤博幸、委員▼金谷道男、石塚柏、千葉健、竹原弘治、本間輝男、鎌田正

【大仙市福祉施設等法人化調査特別委員会】八名  
委員長▼大野忠夫、副委員長▼大山利吉、委員▼藤井春雄、渡邊秀俊、佐藤芳雄、武田隆、門脇一男、藤田君雄

## 二つの特別委員会を設置 第三セクターや福祉施設等を調査



三浦 憲一氏  
(花館・再任)

教育委員会  
委員の任命に同意

## 人事



小林 綾子氏  
(神宮寺・新任)



高橋 弘毅氏  
(南外・再任)

人権擁護委員の推薦に同意

# 可決した議案

## 第二回臨時議会

(四月二十七日開会)

### ■条例関係

☆専決処分報告について(大仙市税条例の一部を改正する条例)

☆専決処分報告について(大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

☆大仙市南外ふるさと館設置条例の一部を改正する条例について

☆大仙市障害程度区分認定審査会の委員を定める条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市八乙女温泉さくら荘設置条例等の一部を改正する条例の制定について

### ■補正予算関係

☆専決処分報告について(平成十七年度大仙市一般会計補正予算(第十号))

☆専決処分報告について(平成十七年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第四号))

☆専決処分報告について(平成十七年度大仙市奨学資金特

別会計補正予算(第二号))

☆専決処分報告について(平成十七年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算(第三号))

☆平成十八年度大仙市一般会計補正予算(第一号))

### ■その他

☆専決処分報告について(議決の変更について)

## 第二回定例会

(六月八日)

六月二十六日開会)

### ■条例関係

☆大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市駐車条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市大曲都市計画事業大曲駅前第二地区土地区画整理事業の施行規程に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

☆大仙市民体育館条例の一部

を改正する条例の制定について

☆大仙市公の施設に係る指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

☆大仙市長及び助役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

☆専決処分報告について(平成十八年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第一号))

### ■補正予算関係

☆平成十八年度大仙市一般会計補正予算(第二号)

☆平成十八年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)

☆平成十八年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第一号)

☆平成十八年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第一号)

☆平成十八年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

☆平成十八年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

☆平成十八年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算

☆平成十八年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算

(第一号)

☆平成十八年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)

### ■人事関係

☆教育委員会委員の任命について

☆人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(二件)

### ■その他

☆秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について

☆大仙市土地開発公社定款の一部変更について

☆工事請負契約の締結について(二件)

☆工事委託に関する協定の締結について

☆財産の処分について

☆平成十八年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について

☆平成十八年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について

☆平成十八年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について

☆平成十八年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について

## 編集後記

○二十四の議案と人事案件に伴う五件の追加議案を審議、可決して八月定例会を終えた。度重なる職員のみすで報酬の減額を示した市長の陳謝で始まったが、新市一年余システムへの対応に不慣れということではすまされまい。現場の一層の研鑽を願っておきたい。

○その他、今定例会から来年の「秋田わか杉団体」に向け、PRに協力しようとする議員全員と市長以下議場に出席する職員も団体のオリジナルジャケットを団体が開催されるまでの定例会の初日に着用すること、議会の本会議のやりとりなどテレビ中継システムをスタートさせたこと、「こども見守り隊」のステッカーを議員(有志)の車に付ける事など申し合わせたことなど、何かと新聞、テレビを賑わせた議会でもあった。

○マスクミによる話題でこれらが一過剰にならぬよう、この大仙市の将来を見据えたビジョンの追求の一つの行為として心していきたいものだ。

編集委員 佐藤隆盛 記